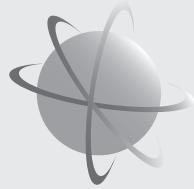


JGA NEWS



2011年(平成23年)7月 39号

CONTENTS

・トピックス

　　アクトス後発医薬品の販売差し止め求め 18社提訴 1

・委員会活動

　　薬価委員会 3

・リレー隨想 (嶋田 隆) 8

・お知らせ

　　日本ジェネリック医薬品学会

　　第5回学術大会モーニングセミナーに参加して 10

　　日本医学会総会 体験博覧会に参加して 12

・賛助会員から

　　住商ファーマインターナショナル株式会社 14

・活動案内 16



アクトス後発医薬品の販売差し止め求め18社提訴

武田薬品工業が、2型糖尿病治療薬「アクトス」後発医薬品の承認を取得した27社のうち、6月に薬価収載に踏み切る方針の18社に対し、「組み合わせ特許」の侵害に当たるとして、製造・販売差し止め訴訟と仮処分命令の申し立てを6月13日付で東京地裁と大阪地裁に行った。18社の後発医薬品は訴訟を抱えたまま6月24日に追補収載されたが、判決の行方によっては発売後に販売差し止めの事態となる可能性がある。残り9社は発売を1年先送りするなどの内容で武田薬品との和解に合意した。

27社は今年1月、先発医薬品と同じフル効能でアクトス後発医薬品の承認を取得したが、 α グルコシダーゼ阻害剤、スルホニル尿素剤、ビグアナイド薬の各薬剤との「組み合わせ特許」の有効性や解釈があいまいなため、フル効能での収載が特許侵害に当たるかどうかは今なおはつきりしない。

特許庁は3月、 α G IとSUとの組み合わせは有効、BGとの組み合わせは無効との審決を下したが、4月に沢井製薬と武田薬品が審決一部取り消しを求めて知的財産高等裁判所にそれぞれ提訴。有効性に関する結論は出ていない。

特許の解釈についても、後発医薬品企業は「配合剤の特許」、武田薬品は「単剤併用までをカバーする特許」と正反対の解釈をしている。前者なら後発医薬品各社がフル効能で収載しても問題ないが、後者なら特許侵害に当たる。解釈は武田薬品が今回起こした製造・販売差し止め訴訟で争われるとみられる。

提訴に先立ち武田薬品は27社と事前協議を実施。組み合わせ特許は2017年まで有効としつつ、医療現場の混乱を避けるとして全社に和解を提案したが、18社は応じなかった。そのため武田薬品は6月に後発医薬品を収載する方針の18社を相手取り提訴した。

訴えられたのは、沢井製薬、日医工、大洋薬品工業、東和薬品、第一三共エスファ、田辺三菱製薬、持田製薬、富士フィルムファーマ、サンド、高田製薬、日新製薬、小林化工、辰巳化学、大原薬品工業、大正薬品工業、共和薬品工業、

全星薬品工業、ニプロファーマの計18社。複数の企業が特許侵害には当たらぬなどとして、全面的に争う構えを見せている。

一方、和解に合意したのはエルメッド エーザイ、キヨーリンリメディオ、日本ケミファ、シオノケミカル、マイラン製薬、日本薬品工業、大興製薬、鶴原製薬、日本ジェネリックーの9社。このうち、エルメッド エーザイは、今年6月収載をやめ、武田薬品から特許の実施権許諾を得て、来年6月以降に後発医薬品を発売する契約を結んだことが明らかになっている。ほかの企業もこれに近い内容で契約締結あるいは契約を予定しているとみられる。

なお、アクトスをめぐっては6月に、膀胱がんリスクを理由にフランスやドイツでは新規患者への処方を禁じる措置を実施。米国では膀胱がん患者に処方しないよう求める勧告を行ったほか、添付文書の「警告と使用上の注意」欄に膀胱がんリスクの記載を追記することになった。こうした状況を踏まえ国内でも厚生労働省が、医薬品医療機器総合機構などとともに同剤のリスク評価を行っている。その結果に基づいて日本でも添付文書改訂などの安全対策が講じられるとみられており、後発医薬品も何らかの対応が求められる可能性もある。

委員会だより

薬価委員会

後発医薬品等の薬価基準収載について

1. 収載について

後発医薬品の薬価基準への収載については、昭和62年5月25日中医協建議に基づき定期化され、平成6年度薬価改正以後はその頻度を1回とした（平成5年11月24日中医協了解事項）。

また、平成19年4月の中医協総会において、平成19年度から後発医薬品の薬価基準への収載頻度を年2回とすることとなった。

2. 薬価算定方式

薬価算定は、平成22年2月12日保発0212第1号保険局長通知「薬価算定の基準について」に基づき実施した。

3. 収載品目内訳

	品 目 数					会社数
	内用薬	注射薬	外用薬	歯科用薬剤	合計	
今回収載 後発医薬品等	品目 192	品目 114	品目 24	品目 0	品目 380	社 63
後発医薬品等 収載後	9,382	4,307	2,869	36	16,594	

4. 最近の収載状況

収載年月日 (告示年月日)	収載希望締切日 (承認締切日)	収載品目数	備考
20.11. 7 (20.11. 7)	20. 8. 8 (20. 7. 15)	99 (109)	
21. 5. 15 (21. 5. 15)	21. 2. 9 (21. 1. 15)	318 (363)	
21.11.13 (21.11.13)	21. 8. 5 (21. 7. 15)	394 (416)	
22. 5. 28 (22. 5. 28)	22. 2. 9 (22. 1. 15)	197 (249)	薬価全面改定 実施22. 4. 1 告示22. 3. 5
22.11.19 (22.11.19)	22. 8. 5 (22. 7. 15)	414 (442)	
23. 6. 24 (23. 6. 24)	23. 2. 4 (23. 1. 17)	330 (415)	

* ()書は収載希望品目数

(参考)

1. 最近の後発医薬品等の動向

年 度	収載希望品目	収載品目	初めての後発医薬品			品目数20超(注2)			代替新規※	※以外
			成分	規格	品目	成分	規格	品目		
平成19年度 7月	439	420	19	49	237	1	1	1	48	372
平成19年度 11月	19	14	0	0	0	1	2	2	1	13
平成20年度 7月	505	463	18	29	260	1	1	1	24	439
平成20年度 11月	109	99	2	7	16	0	0	0	7	92
平成21年度 5月	363	318	13	23	119	0	0	0	40	278
平成21年度 11月	416	394	8	17	86	3	4	28	40	354
平成22年度 5月	249	197	5	12	37	1	2	4	37	160
平成22年度 11月	442	414	6	22	166	1	1	1	32	382
平成23年度 6月	415	330	4	7	87	2	4	4	34	296

注1) 今回の収載希望品目－収載品目＝85品目

内訳
 収載希望の取り下げ 80品目
 告示不要品目（局方名収載等によるもの） 5品目

注2) 組成、剤形区分及び規格が先発医薬品と同じものが、既収載品と今回収載品を合わせて20品目を超えた後発医薬品で、最低価格×0.9の対象となったもの

2. 後発医薬品の収載状況（成分数、規格数、品目数）

	内用薬	注射薬	外用薬	歯科用薬剤	合計
成分数 (初後発品)	64 (3)	35 (1)	8 (0)	0 (0)	105*
規格数 (初後発品)	98 (4)	68 (3)	16 (0)	0 (0)	182 (7)
品目数 (初後発品)	192 (52)	114 (35)	24 (0)	0 (0)	330 (87)

*フルコナゾール、塩酸ニカルジピンは、「内」、「注」とともにある

○後発医薬品が初めて収載され算定された品目

	成分数	規格数	品目数
内用薬	3 (3)	4 (8)	52 (148)
注射薬	1 (3)	3 (14)	35 (18)
外用薬	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	4 (6)	7 (22)	87 (166)

注) () 内は平成22年11月収載時の数

平成23年6月後発医薬品収載品目数上位成分一覧表

順位	区分	成分名	先発品及び会社名	規格単位	品目数	備考
1	内	塩酸ピオグリタゾン 糖尿病用剤(396)	武田薬品工業 アクトス錠15 アクトスOD錠15 アクトス錠30 アクトスOD錠30	15mg 1錠 15mg 1錠 30mg 1錠 30mg 1錠	18 7 18 7	初後発
				計	50	収載会社数18社
2	注	エダラボン その他の中枢神経系用薬(119)	田辺三菱製薬 ラジカット注30mg* — ラジカット点滴静注バッグ30mg	30mg20mL1管 30mg20mL1瓶 30mg100mL1キット	19 2 14	初後発
				計	35	収載会社数22社
3	注	イオヘキソール X線造影剤(721)	第一三共 オムニパーク300注10mL オムニパーク300注シリソジ50mL オムニパーク300注シリソジ80mL オムニパーク300注シリソジ110mL オムニパーク300注シリソジ125mL オムニパーク300注シリソジ150mL	64.71%10mL1瓶 64.71%50mL1筒 64.71%80mL1筒 64.71%110mL1筒 64.71%125mL1筒 64.71%150mL1筒	1 2 2 1 3 4	
				計	13	収載会社数5社
3	外	ヒアルロン酸ナトリウム 眼科用剤(131)	エイエムオー・ジャパン ヒーロン0.4眼粘弾剤1% ヒーロン0.6眼粘弾剤1% ヒーロン0.85眼粘弾剤1% 参天製薬 ヒアレイン点眼液0.1% ヒアレインミニ点眼液0.3%	1%0.4mL1筒 1%0.6mL1筒 1%0.85mL1筒 0.1%5mL1瓶 0.3%0.4mL1個	4 4 1 2 2	
				計	13	収載会社数5社

*本剤は新薬創出等加算対象品目である

平成23年6月後発医薬品収載品目数上位成分一覧表

No.	区分	成分名	規格単位	品目数	収載社	先発品	先発会社	収載会社名
1	内	塩酸ビオグリタゾン	15mg 1錠 15mg 1錠 30mg 1錠 15mg 1錠	18 7 18 7	18 7 18 7	アクトス錠 15 アクトスOD錠 15 アクトス錠 30 アクトスOD錠 30	武田薬品工業	大原薬品工業、共和薬品工業、小林化工、沢井製薬、サンド、全星薬品工業、第一三共工スファ、大正薬品工業、大洋薬品工業、高田製薬、辰巳化学、田辺三菱製薬、東和薬品、日医工、日新製薬、ニプロファーマ、富士フィルムファーマ、持田製薬
2	内	リセドロン酸ナトリウム水和物	2.5mg 1錠	1	1	アクトネル錠 2.5mg/ ベネット錠 2.5mg	味の素製薬/ 武田薬品工業	マイラン製薬
3	内	リバピリン	200mg 1錠	1	1	レベトールカプセル 200mg*	M S D	高田製薬
4	注	エダラボン	30mg20mL 1管 30mg20mL 1瓶 30mg100mL 1キット	19 2 14	19 2 4	ラジカット注 30mg* — ラジカット点滴静注 バッグ 30mg	田辺三菱製薬	アイロム製薬、イセイ、共和薬品工業、キヨーリンメディオ、興和テバ、小林化工、沢井製薬、第一三共エスファ、大正薬品工業、高田製薬、辰巳化学、東和薬品、日医工、日新製薬、ニプロファーマ、日本ケミファ、原澤製薬工業、ファイザー、富士製薬工業、マイラン製薬、Meiji Seika ファルマ、陽進堂

* 本剤は新薬創出等加算対象品目である

薬効別収載品目数（全体）

薬効番号	薬効分類	内用薬	注射薬	外用薬	歯科用薬剤	合計
113	抗てんかん剤	3				3
114	解熱鎮痛消炎剤	5		3		8
116	抗パーキンソン剤	6				6
117	精神神経用剤	15				15
119	その他の中枢神経系用剤	1	35			36
122	骨格筋弛緩剤	1				1
123	自律神経剤	1				1
124	鎮けい剤	1				1
131	眼科用剤			13		13
132	耳鼻科用剤			1		1
211	強心剤	4				4
212	不整脈用剤	6				6
213	利尿剤	5				5
214	血圧降下剤	21	3			24
216	血管収縮剤	1				1
217	血管拡張剤	10	4			14
218	高脂血症用剤	4				4
223	去たん剤	1				1
225	気管支拡張剤	6		3		9
231	止しゃ剤、整腸剤	1				1
232	消化性潰瘍用剤	6	4			10
233	健胃消化剤		3			3
239	その他の消化器官用薬	3				3
259	その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬	5				5
261	外皮用殺菌消毒剤			1		1
264	鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤			3		3
311	ビタミンA及びD剤	4				4
331	血液代用剤		3			3
333	血液凝固阻止剤		3			3
394	痛風治療剤	5				5
396	糖尿病用剤	55				55
399	他に分類されない代謝性医薬品	2	2			4
422	代謝拮抗剤		3			3
424	抗腫瘍性植物成分製剤		6			6
429	その他の腫瘍用薬	5				5
449	その他のアレルギー用薬	8				8
612	主としてグラム陰性菌に作用するもの		4			4
613	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	2	11			13
614	主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	2				2
615	主としてグラム陽性・陰性菌、リケッチャ、クラミシセアに作用するもの		1			1
625	抗ウイルス剤	1				1
629	その他の化学療法剤	2	3			5
634	血液製剤類		2			2
721	X線造影剤		23			23
722	機能検査用試薬		1			1
729	その他の診断用薬（体外診断用医薬品を除く。）		3			3
	合計	192	114	24	0	330



故郷を想う

日本薬品工業株式会社

代表取締役社長 嶋田 隆

この度の東日本大震災により罹災された方々に心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、前回の続編として私の故郷への想いを馳せながら、ご紹介とPRを兼ねましてリレー隨想とさせていただきます。

私は今から46年前、17歳で上京してから今日まで都会での生活に染まってしまい、つい懐かしい故郷のことも忘がちで過ごしてきましたが、私の故郷には自然に恵まれた観光地を始め幾つかの観光地資源があります。昔、映画化されて有名になった網走番外地のあるところですが、いま地域を上げてこの観光資源に力を入れているとのことです。

私の故郷は北海道の北東部、オホーツク海に面した最果ての地とも云われる、網走です。

北緯44度に位置し、このオホーツク海沿岸は北半球ではもっとも南域での流氷が見られる唯一の場所なのです。まずこの流氷をご紹介させて戴きます。いま大きな観光資源として、流氷がオホーツク海沿岸に接岸する1月中旬から2月末の間、オホーツク海では流氷観光砕氷船おーろら号（網走）やガリンコ号（紋別）が観光客を乗せて活躍します。シーズン中には流氷の珍しさから中国や韓国、そして台湾からも観光客が多いとのことです。このオホーツク海の流氷は、ロシア極東のアムール川の河口の海水が凍る過程で塩分がなくなり流氷として海流と風向きによって南下し、北海道オホーツク海沿岸に接岸します。この流氷にはアザラシ、オジロワシ、キタキツネなども流氷に乗ってシベリアから今でも来るそうです。また流氷には植物プランクトンが付着しており、動物プランクトンの餌となりサケやマスなどの魚が動物プランクトンを食べ、その魚が知床半島の川を遡上して産卵後に命を終え、ヒグマやオジロワシなどの餌となるのです。しかし流氷も近年は地球温暖化の影響により流氷の量が40%ほ

ど減少してきているそうです。地元では地球温暖化防止運動が始まっており、「流氷を守ることが地球を守ること」を合言葉にオホーツク流氷トラスト運動(CO₂減少)が呼びかけられているとのことです。

次にこの流氷が接岸する知床半島をご紹介いたします。知床半島は北海道北東部に位置し、オホーツク海と根室海峡に挟まれた国立公園であり、21世紀に残された雄大な野生の聖地なのです。現在、ユネスコの世界自然遺産への登録は、国内では屋久島(鹿児島県)、白神山地(青森、秋田県)に次いで知床半島が3ヶ所目です。この知床半島はほとんどが手付かずの景観と生息する動植物の豊かさが人々を魅了してやみません。確認されているだけでも233種類の高山植物、63種類の哺乳類、264種類の鳥類、265種類の魚類など、……知床半島は動植物の宝庫なのです。これほどの自然が残っている理由は、半島の根元部分の幅が約25キロと狭い割に、奥行きが70キロという長い半島になっており、ほとんど孤立した島のような地形に加えて冬の気候が大変厳しいため、開発の手が及ばない人間界を拒絶する環境が、豊かな自然を育んできたとのことです。標高1,661mの羅臼岳をはじめとする山々が連なり稜線から海岸まで平地がなく、断崖絶壁の海岸線が地形的な特徴です。私が上京した当時に大ヒットしていた名曲「知床旅情」でも歌われている知床岬は、ウトロ港から出ている観光船から眺められ、その景色は自然の美しさに圧倒され、訪れる人々を魅了します。知床半島は日本最後の秘境ともいわれ、観光客も年々増えている為、環境の維持保全が世界自然遺産登録の栄誉との引き換えに地元への負担として重くのしかかってきているとのことです。

最後になりますが、知床とはアイヌ語でシリエクト(大地の果てるところ)に由来して、美しさと厳しさの自然環境とそして野生の聖地を、機会があれば体感して頂きたいと思います。

次号は、ザイダスファーマ株のシャルマ カイラッシュ ディープ社長にお願いします。



日本ジェネリック医薬品学会 第5回学術大会 モーニングセミナーに参加して

理事長
長野 健一

6月18日、19日の2日間にわたり日本ジェネリック医薬品学会（GE学会）第5回学術大会が、東京都江戸川区のタワーホール船堀において開催され、JGA共催のモーニングセミナーが開催されましたので報告します。

セミナーのテーマは、「災害発生と救済対策－GE医薬品の緊急搬送を顧みて」と題して、GE学会理事の村田 正弘 先生がご講演され、長野が座長を務めさせて頂きました。

GE学会は、3月11日の東日本大震災の発生後直ちに被災地へのジェネリック医薬品の緊急搬送に着手、厚生労働省経済課に趣旨を説明し、JGAの会員企業等に協力を呼び掛け、無償提供を依頼されました。

こうした呼びかけにGE企業の多くが無償提供に応じ、学会ではこれらの搬送のためのトラックの手配、燃料の確保等に奔走された経緯等が説明されました。また、村田先生ご本人が医薬品の搬送に携わり、被災地に足を運ばれていらっしゃるので、搬送先での保管状況、被災地や避難所等多くの写真をスライドで紹介されました。

また、今回の緊急搬送を経験して、今後の被災地への医薬品供給に関して次のような教訓が挙げられました。

- ・被災現場からの必要とする医薬品の情報は、通信手段の断絶や、混乱のため、受け身では得られない。
- ・災害の態様やステージに応じて、必要とする医薬品のリストアップが必要。
- ・災害に備えた医薬品の流通、備蓄及び緊急時対応システムの整備等の必要性。
- ・一般名処方の定着の必要性。

また、災害対策の第3ステージとして、村田先生が所属されるセルフメディケーション推進協議会の「被災避難所における健康管理と薬の使い方の啓発」に関する活動状況を紹介されました。

日本医学会総会 体験博覧会に参加して

興和テバ株式会社
市川 尚弘

平成23年6月24日～26日、東京北の丸公園内の科学技術館にて医学会総会の体験博覧会があり、JGAとしてもブース展示を行いましたので報告します。

尚、この体験博覧会は、4月に東京ビッグサイトで実施予定であったものが、東日本大震災で中止となり、形を変えて実施されたものです。

科学技術館の1階に「体や病気のしくみが「わかる」」、「病気に挑み、健康づくりに「取り組む」」、「医学や健康・予防の未来を「作る」」の三つをテーマとした体験型のブースを作り、医学の基礎、臨床の現場、未来への展望を紹介することを目的としています。

同時にWEBでも公開されていますが、WEBではわかりにくい内容を中心として、体験展示を行いました。

JGAのテーマは、「もし日本が1000人の村だったら」というもので、医学会総会ではコメントーターの先生方にこのテーマについて話して頂く予定でしたが、今回は、約10mのパネルにJGAの主張をイラストレーションで表し、参加して顶く予定であった先生方のコメントを別パネルで表示しました。
(写真参照)



医療費の増加がとどまるところを知らず、健康保険が大きな赤字を抱えて危機にある今日、ジェネリック医薬品を使用する事が、国民皆保険の維持に重要な役割を果たすことを「世界がもし100人の村だったら」という有名なお話をモチーフとしてストーリーを構築しています。



さらに4mほどのスペースにPCを2台設置し、JGAのホームページから「かんたん差額計算」にアクセスして実際の差額を見ていただけるようにしました。

24日朝10時からの開館と同時に、多くの方がブースを訪れて頂きました。広報部会からも3名の運営委員が参加していましたが、我々も驚いたのが差額計算コーナーの人気ぶりでした。4年前の医学会総会（大阪）の時には、一応保険薬事典を持って待機していても実際に聞きに来られる方は数えるほどだったのが、今回はPCの前で待つ方がおられる状態で、真剣に聞きにこられる方が多いと感じました。

以下に、入場者数（体験博覧会）と資料の配布数（JGA資料）を記載します。

24日 入場者数= 3125人 資料配付= 1200セット

25日 入場者数= 5227人 資料配付= 1700セット

26日 入場者数= 6588人 資料配付= 4900セット

入場者数 14940人に対しまして、7800セットの資料配付となり、大きな手ごたえを感じた博覧会となりました。

•贊助会員から

住商ファーマインターナショナル株式会社

JGA会員の皆様、住商ファーマインターナショナル株式会社です。“贊助会員から”には2010年10月号に続いて2回目の登場です。

弊社は医薬品業界へのトータルサービスプロバイダーとして、医薬品原料の供給だけではなく、海外の有望バイオベンチャーや日本の製薬企業の皆様への新薬開発支援、創薬研究のための機器販売なども行っています。

製薬企業の皆様が求める高品質な原薬を供給するため、仕入れ先である諸外国の製造業者に日本の医薬品市場動向などの情報提供や、直接製造現場に赴き品質及び製造の管理体制の確認、更には製造管理及び分析の指導・支援等も行っています。また、弊社は今期目標に「質的充実」を掲げており、その一環として製薬企業の皆様のニーズに対して迅速且つ正確に応えるため、本年4月より組織変更を行い、ジェネリック医薬品に特化した部を発足させ、同時に品質保証室の人員を増強して品質管理業務及び薬事業務の迅速化を図り、サービス向上に努めています。

JGA会員各社様では、後発医薬品の安心使用促進アクションプログラムの目標である「平成24年度までに後発医薬品の数量シェアを30%（現状から倍増）以上にする」に向かって色々取り組んでおられることと思いますが、弊社の活動がその一助となれば幸いです。

ところで、平成17年の薬事法改正によりMF制度、GMP適合性調査制度、外国製造業者認定制度が導入され、また製造販売承認審査基準も大きく変化しました。原薬の製造方法から製剤品質まで一貫した管理を目的とする改正薬事法も定着してきましたが、その内容が公式には十分に連絡されていない諸外国からはその運用に対して不満の声も上がっています。外国製造業者からの輸入原薬を多く使用頂いているJGA会員の皆様はどうに感じ、みておられるでしょうか。現在、厚生労働省内に厚生科学審議会医薬品等制度改革検討部会が立ちあげられ、薬事法の問題点や改善点について話し合いが始まっています。当会贊助会員の原薬輸入商社も一様にこれら輸入原薬に対する薬事業務、品質管理の強化を進めていますが、製造販売業者の皆様のご意見はいかがでしょう

か。

原薬の紹介を通して、「質的充実」を伴った達成感のある業務にJGA会員の皆様と一緒に進んでいきたいと思います。



<日 誌>

6月 1日	品質委員会	日本ジェネリック製薬協会会議室
6月 7日	総務部会	"
6月 14日	信頼性向上プロジェクト全体会議	東京八重洲ホール会議室
6月 15日	薬制委員会通知検討部会	日本ジェネリック製薬協会会議室
6月 16日	理事会	"
"	常任理事会	"
"	流通適正化委員会	東京薬事協会会議室
6月 22日	薬事関連連絡会	日本ジェネリック製薬協会会議室

<今月の予定>

7月 12日	総務部会	日本ジェネリック製薬協会会議室
7月 20日	品質委員会	東京八重洲ホール会議室
7月 21日	臨時常任理事会	日本ジェネリック製薬協会会議室
"	臨時理事会	"
7月 22日	薬価委員会	東京八重洲ホール会議室
"	薬制委員会全体会議	"
7月 25日	安全性委員会	"
7月 27日	薬事関連連絡会	日本ジェネリック製薬協会会議室
7月 28日	くすり相談委員会	"

/編/集/後/記/**身近な自然の話**

たまがわ
多摩川は首都圏の一級河川でありながら護岸化されていない部分が多く川辺の野草や野鳥が数多く見られる自然豊かな河川で上流から下流まで都民に愛されている場所であります。上流と中流の境目は羽村堰です。羽村堰は玉川上水の取入口であり、又都民の水道水として、こと、1.5kmほど上流の小作取入口から取り入られて、村山・山口貯水池に送られ飲料水となっています。

羽村堰の近く、海から55kmのところが私の住まいです。自然が多くても郊外の少し奥という感じの場所なので自然と人工の環境がほどよくミックスしています。

多摩川では冷水対策の為、小河内ダムの表層水の放流をはじめた結果、河川の温度が急激に上昇しました。もともとダムができた為に多摩川の水温は低温化したのが、もとにもどっただけであると言えますが、急激な環境の変化はダメージを与えました。水温の上昇で「あゆ」に適した河川にしたいとの漁業協同組合の思惑と、観光協会の「川遊びの」人口が増えることの期待と、関係者がそろって期待した結果は次のとおりです。「あゆ」は期待に反して釣れない状態が非道くなってしまいました。皮肉にも水質浄化の進んだ下流域では遡上が見られたりして話題になっているのに上流は釣れない河になっています。河の流れや雰囲気は良いのですが、川底や岸辺の水草が壊滅的な状態になってきました。皆さんがつれないので、釣り人の数が激減してしまいました。同行する家族づれの数も同様に増えませんでした。地元で河を毎日みっていても原因は水温の変化か、護岸工事やダムからの砂やシルトの為かわかりません。

もとの良い河川になり都民のオアシスとして、楽しい「つり」や「BBQ」や「川遊び」ができるような多摩川が復活すれば良いと思う今日です。

大自然の力でもとにもどりつつある多摩川に皆さん「川遊び」に是非出掛け下さい。川の流れを見ているだけでも心があらわれますヨ。
(S.Y)

■編 集

日本ジェネリック製薬協会
総務委員会広報部会

■発 行

日本ジェネリック製薬協会

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-3-4
日本橋本町ビル7F
TEL:03-3279-1890 FAX:03-3241-2978
URL:www.jga.gr.jp